

「搾乳衛生」の向上を目指した農家研修会で講演

10月16日に、農場 HACCP※に取り組む京丹後市の酪農家で「搾乳衛生」向上を目指した研修会が開催され、当初の職員が講師を務めました。

衛生的な搾乳の実践は、乳牛の能力を最大限引き出し、乳房炎のリスクを減らすうえで欠かせない技術です。基本的な手順をはじめ、実際の農場での作業に照らしあわせて、ていねいに研修を行い、牧場主をはじめ 3 名の従事者は、今後の作業の参考にするため熱心にメモを取り聞き入っていました。

今後も酪農家の経営向上につながる搾乳衛生や飼養管理の向上に向けた支援をおこなってまいります。

※ 農場 HACCP は農場の飼養衛生管理に HACCP の考え方をとり入れて、生産される畜産物の安全性の確保及び生産性の向上を図るためのものです。



研修会の様子

畜産センター